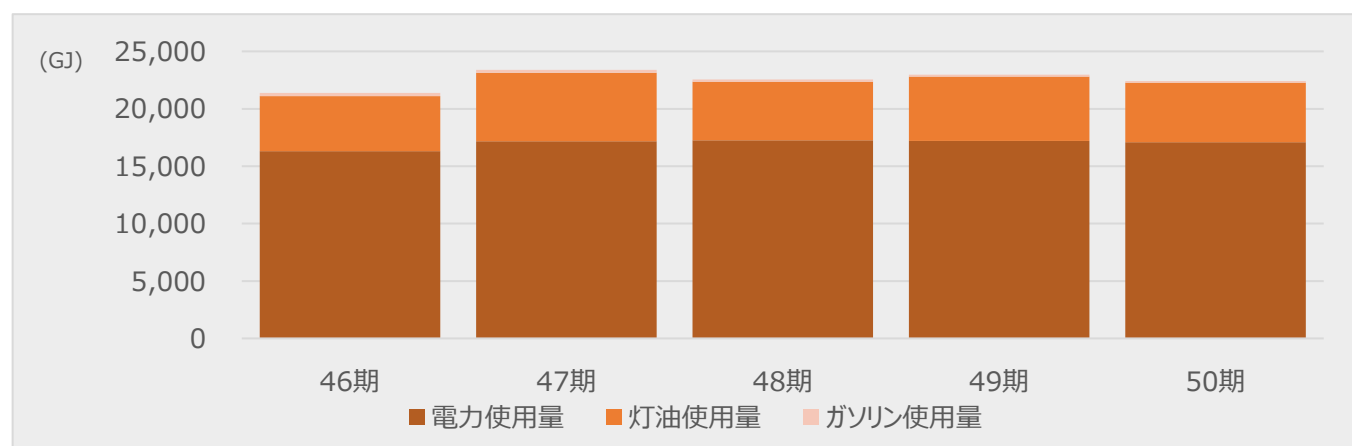


【主要な環境パフォーマンス指標の推移】(50期：2024/7～2025/6)

◆資源消費

当社はファブレスメーカーの為、電力及び灯油、水の使用は事業所及び物流センターのみとなります。
50期のエネルギー投入量は49期に比べて約2%減少しました。当社のエネルギーの主な用途は、各事業所における電気と冷暖房のための灯油です。各事業所はLED化を進めておりエネルギー使用量の削減を図っています。水資源の投入量は、前年度より22%増加の9,469m³となりました。

■エネルギー投入量



エネルギー投入量	単位	46期	47期	48期	49期	50期
		2020/7-2021/6	2021/7-2022/6	2022/7-2023/6	2023/7-2024/6	2024/7-2025/6
電力使用量	GJ	16,310	17,169	17,264	17,201	17,075
	Mwh	1,636	1,722	1,732	1,725	1,713
灯油使用量	GJ	4,780	5,977	5,083	5,611	5,208
	kl	130	163	139	153	142
ガソリン使用量	GJ	285	235	212	171	143
	kl	8	7	6	5	4
Total 熱量	GJ	21,375	23,380	22,559	22,983	22,425
	原油換算	551	603	582	593	579
エネルギー原単位 (売上高当たり)	GJ/億円	41	46	48	54	49

※集計範囲は、本社(第1ビル、第2ビル、ラボ)、能美物流センター、各営業拠点を対象としています。

■水資源使用量

水資源	単位	46期	47期	48期	49期	50期
		2020/7-2021/6	2021/7-2022/6	2022/7-2023/6	2023/7-2024/6	2024/7-2025/6
取水量	水道	4,768	5,476	5,586	5,449	6,000
	地下水	2,995	4,001	3,123	2,323	3,469
	合計	7,763	9,477	8,709	7,772	9,469
排水量	m3	4,768	5,476	5,100	5,449	6,000

※集計範囲は、本社(第1ビル、第2ビル、ラボ)、能美物流センターを対象としています。

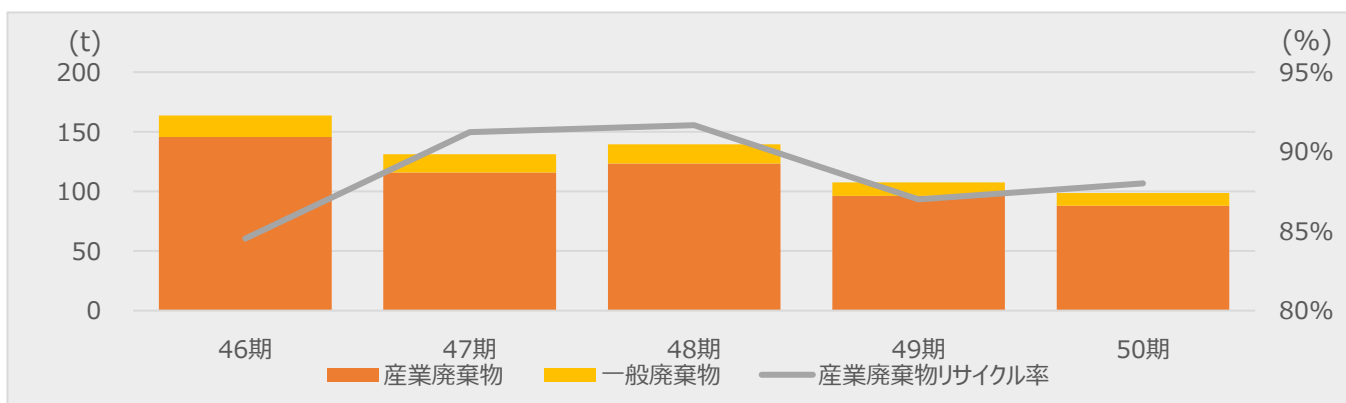
◆排出物

排出物の発生量は49期より約8%減少し、98.6トンでした。

当社の取組みとして、海外から輸送される際の本パレットで、再利用可能なものは廃棄せず、そのまま国内の取引先への配送に再利用し、環境負荷低減とコストの削減の両立を目指しています。

パレットの廃棄については、リユース、リサイクルの取り組みにより年々減少しています。

■廃棄物



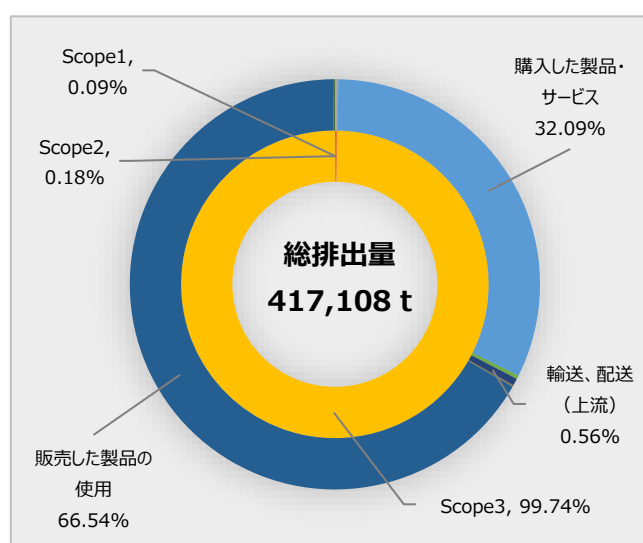
	単位	46期	47期	48期	49期	50期
		2020/7-2021/6	2021/7-2022/6	2022/7-2023/6	2023/7-2024/6	2024/7-2025/6
産業廃棄物	t	145.7	115.8	123.3	96.2	87.9
一般廃棄物		17.9	15.3	16.2	11.3	10.7
産業廃棄物リサイクル率	%	85%	91%	92%	87%	88%

※集計範囲は、本社(第1ビル、第2ビル、ラボ)、能美物流センターを対象としています。

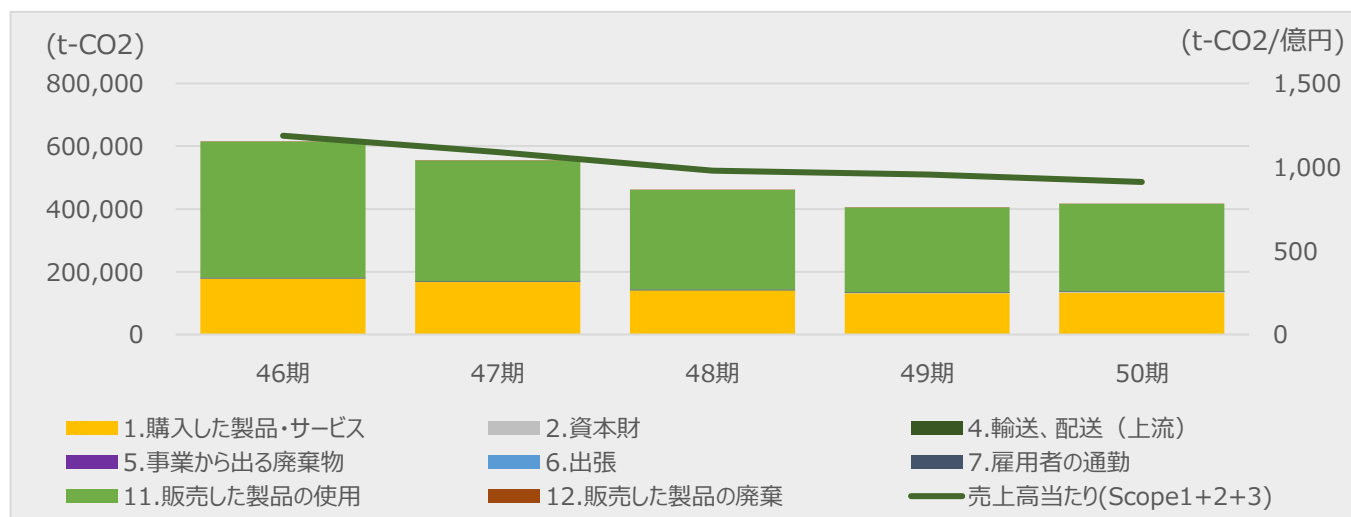
◆温室効果ガス排出量

全体の温室効果ガス排出量は、前期比3%増の417,108トンとなりました。売上高当たりの排出量は前期比で5%減少しています。Scope1、2に関しては横ばいの状態となっております。Scope3については50期販売数量の増加に伴い若干昨年より増加しましたが、売上高あたりの排出量で見ると毎年減少傾向にあります。

当社の温室効果ガス排出量の約7割がカテゴリ11（販売した製品の使用）による排出であるため、環境に配慮した商品の開発により一層注力することで、持続可能な社会に向けた取り組みをすすめてまいります。



■ 温室効果ガス排出量（Scope3）



	単位	46期	47期	48期	49期	50期
		2020/7-2021/6	2021/7-2022/6	2022/7-2023/6	2023/7-2024/6	2024/7-2025/6
Scope1	t-CO2	343	421	359	392	363
Scope2	t-CO2	728	746	752	747	742
Scope3	t-CO2	615,048	555,445	461,801	405,279	416,004
1. 購入した製品・サービス	t-CO2	177,250	167,264	140,122	131,018	133,831
2. 資本財		652	455	813	1,141	1,179
4. 輸送、配送（上流）		2,929	2,135	1,890	2,075	2,330
5. 事業から出る廃棄物		62	34	38	41	35
6. 出張		56	100	199	311	302
7. 雇用者の通勤		206	209	196	187	168
11. 販売した製品の使用		433,079	384,550	317,943	269,984	277,562
12. 販売した製品の廃棄		816	697	608	567	597
Total(Scope1+Scope2)	t-CO2	1,071	1,167	1,111	1,139	1,104
Total(Scope1+Scope2+Scope3)	t-CO2	616,120	556,611	462,912	406,418	417,108
売上高当たり(Scope1+2+3)	t-CO2/億円	1,187	1,089	979	956	911

※Scope1,2排出量の集計範囲は、本社(第1ビル、第2ビル)、能美物流センター、各営業拠点を対象としています。

※Scope3排出量の集計範囲は、株式会社アイ・オー・データ機器を対象の範囲としております。子会社等グループ会社は対象にしておりません。

※排出原単位は、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver3.5)」を使用しています。

■ 排出量削減 取り組み事例

➤ [アイ・オー・データは、ディスプレイ事業を通じて、持続可能な社会の実現に向けた取り組み・モノづくりを続けています。](#)

➤ [【さらに節電！】PCスリープ機能で離席時の消費電力削減-BizCrysta新機能！](#)

➤ [オフィスのPC周りの節電対策 見落としがちな4選](#)

➤ [NASの節電対策！省電力モードを活用して深夜の電力消費を抑える！](#)